

思い出の学び舎から巣立つ

村内の小・中学・高等学校で卒業証書授与式が、幼稚園で修了式が行われました。児童生徒ら合わせた219人は、感謝と笑顔で、それぞれの学び舎を巣立ちました。

卒業生、幼稚園の修了児数

相馬農業高校飯館校 27人、飯館中学校 72人、
草野小学校 18人、飯樋小学校 24人、白石小学校 12人、
草野幼稚園 44人、飯樋幼稚園 22人



タツプ、リほめる。シツカリしかる。

いいたてっ
夢づくり構想

教育のページ

卒業おめでとう



▲飯樋小学校



▲相馬農業高校飯館校



▲飯館中学校



▲草野幼稚園



▲イワダレソウを植えつける卒業生



▲植樹を行う高橋実行委員長

今年3年目を迎えた飯館中学校の「やったね！事業」で、今春の卒業生による植樹が行われました。

「地球環境を守ること」と「村民との交流の場をつくる」を今年のテーマとして、やったね！実行員会が中心に計画を進めてきました。

この日集まった卒業生は、校舎の南側斜面に、イワダ

3/18

飯館中学校「やったね！事業」で、オオヤマザクラなどを植樹

学び舎に交流の場を

レソウを一人ひとりがいねいに植え付けました。

その後、オオヤマザクラを同実行委員らが植樹しました。

高橋宏佳実行委員長（長泥）は、「授業で桜の植樹を通じた交流を学んだことが植樹のきっかけ。これから花が咲くのを楽しみにしています。村民のみなさんに花を見に来てほしい」と笑顔を見せていました。

中学校には、オオヤマザクラ、イワダレソウのほか、ハナモモやハナミズキも植樹されました。

子育て相談室

— お気軽にご相談ください —

入学前のしつけ

春4月、入学の季節です。飯館村においても、入試を突破し、子どもを高校や大学に進学させたご家庭が多いこと存じます。

教育は、知的能力や技術を高め、人々との好ましい関係を築く能力、道徳的実践力、そして社会への適応能力を育てることが主な目的です。

いわば人間力、つまり人間としての付加価値を身につけるための営みです。

福沢諭吉が「いかなる寒村といえども、論語、大学の知らざる者なし」と述べたように古来、わが国は世界有数の教育水準を保持する国家であり、それが日本の繁栄をもたらしたと言っても過言ではないようです。

これはひとえに日本人一人ひとりの「教育熱」がもたらした結果であるに違いありません。

教育の立場にある人間からみて、最近のわが国は、知的能力や技術の習得という教育の基本がなおざりになり、また一方では学力の格差が広がりつつあるようにも感じます。日本人の教育熱のかけりを感じます。

飯館村には、「教育マニフェストプラン」が教育熱の発露の姿となり、ある一定水準を維持する教育の実践に役立つことを期待したいと思えます。

飯館中学校スクールカウンセラー
海野 和夫

飯館村が選んだこの1冊

『手紙～親愛なる子供たちへ～』感想文コンテスト入賞作品紹介



優秀賞

友田 美代子さん
(飯館村・43歳)

私のこころのポストにも「手紙」が届いた。子供たちがまだ小さかった頃、我家にも同じ様な事が毎日のように繰り返され、無我夢中で子供たちを育てていた日々を懐かしく思い出して出した。思う様にならず、イライラすることも度々。でもこの子供たちが生まれてくれたおかげで、泣いたり笑ったり、どんなにかけがえない宝物を手えてもらったことか。そして私もきっと家族や周りの人々に同じ様に育ててもらったのだらうと思つた。生まれて老いて…。人の一生は巡り、まきに来た道行く道である。だれにでも幼すぎでできないこと、年をとってできなくなることもある。それを見守りあたりまえに支え合えたら、とてもあつたかく素敵な関係なのに。老いの介護は先も見えず、変わっていく親を認めるのはつらく苦しい。肉親だからこそどうしようもできない感情もある。そんな時は思い出したいと思う。いつまでもどんな時も、生きている限りずっと、親は子を思い続け、子は子なのだなあと。

○「教育相談」は、飯館中学校（☎42-0008）または教育委員会（☎42-0086）へ電話でお申込みください。